

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成28年7月27日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 大阪府門真市大字門真1006番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) パナソニック株式会社 代表取締役社長 津賀 一宏
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	A I S社 宇治地区	
導入年月日	2000年 9月 22日	
認証番号	EC10J0027	
基本方針	1. 宇治川水系の水質を守る 2. 地球温暖化防止に努める 3. 排出物を減らす 4. 天然資源を守る 5. 地球との共生に努める 6. エネルギー貯蔵デバイスの開発 7. 環境配慮型商品の開発 8. 一人ひとりの環境意識向上	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	・CO2排出量削減目標：生産高原単位 年1%改善 ・排出物リサイクル率：99%以上	
目標を達成するための取組の内容	・空調設備(9号棟)の25台を省エネタイプに更新 ・高電圧変圧器の3台を高効率タイプへ更新 ・井戸水工程削減(ろ過工程削減)による電力量削減	
目標を達成するための取組の進捗状況	・水銀灯をLEDに変更(第1年度予定)→完了 ・空調設備25台を省エネタイプに更新(第2、3年度予定)→完了 ・高電圧変圧器3台を高効率器に更新(第3年度予定)→完了 ・井戸水工程削減による電力量削減(第3年度予定)→完了	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・実施計画に基づいた省エネ・省資源活動を推進 ・省エネ委員会(毎月)による活動の報告と横展開 A I S社省エネ委員会と連携した省エネ情報の交換・技術交流  基準年度に対し原単位で6.3%削減された。目標を達成する為の手段で上げた省エネの取り組みの前倒し完了に加え、源泉工程の合理化によりエネルギー消費の大きい設備を廃止したことの寄与が大。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	排水：瀬戸内法を遵守 大気・振動・騒音・廃棄物等：各法令・条例の遵守  遵守状況：違反及び行政当局からの指摘・指導事項無し	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	・環境内部監査(1回/年)による適合性確認と改善確認 ・外部認証機関(JACO)による環境審査(1回/2年) ・宇治地区最高責任者によるマネジメントレビューの実施(1回/年) システムに不備の指摘がなく、また成果としても昨年度使用電力量の削減など省エネに結びついており運用状況は良好として今年度も引き続きこのまま継続することとなった。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。